

# パシッグ河洪水予警報システム事業



ロザリオ中央監視施設

## 借款概要

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 1,140百万円/1,036百万円   |
| 借款契約調印  | 1983年9月             |
| 借款契約条件  | 金利3.0%、返済30年（据置10年） |
| 貸付完了    | 1993年12月            |

## 事業概要

マニラ地区の洪水制御のため実施された「パシッグ河治水事業」により建設された放水路内の人命財産等を洪水流から守る事を目的として、洪水予警報システムを設置するもの。

## 評価結果

各観測所での雨量・水位の測定、各監視局や観測所と中央統括局とのデータ配信、及び警報の作動は適切に実施されている。放水路付近の住民の予警報システムに対する評価は高く、その重要性は認識されており、かつ警報に従って適切に行動されていることから、その有効性が認められる。また、当該地域（パシッグ・マリキナ川）の洪水被害状況を見ると、事業実施前と比較して、洪水被害額が減少しており、本事業が貢献しているものと思われる。加えて、本事業による通信機器の設置により、実施機関が予警報システム全体に関する知識を新たに取得した事もプラスの効果と認められる。一方、急速な技術進歩と通信電波帯との関係から設備機器の更新拡充が必要となっており、これに対しては我が国の無償援助にて支援されている。